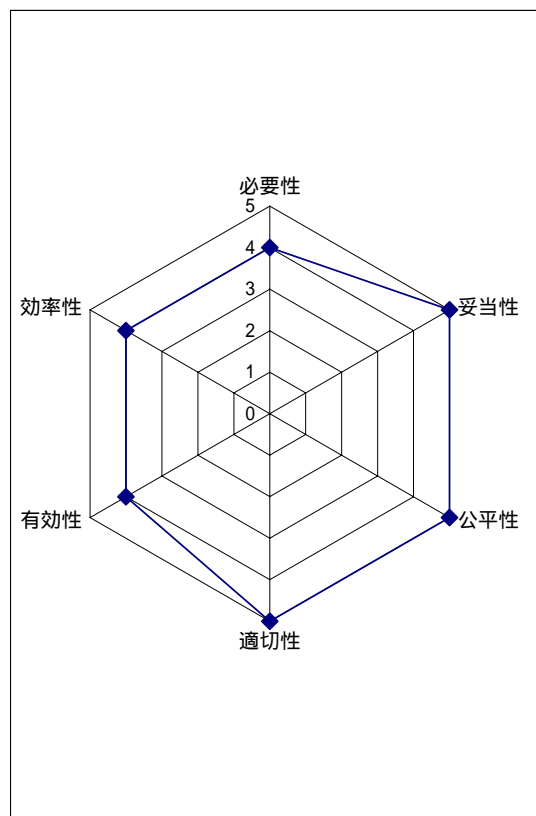


事務事業名	市道0219・3429・3099号線道路改良工事	担当部局	市長部局 都市建設部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	土木課
施策体系	安全で快適な暮らしづくり(生活道路整備)	担当係名	改良係
施策	身近な道路の整備を進める		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	新4号国道に接続する幹線道路を計画的に整備することにより、交通の円滑化及び交通安全が図られ地域住民の生活向上に資する。		
事業の期間(開始/終了)	平成14年 4月/	平成18年 3月	
根拠法令、条例、規則など	道路法 道路構造令 道路交通法		
事業が対象としている人(モノ)	市道0219・3429・3099号線道路改良工事		
具体的な活動内容	実施設計(詳細設計)に基づき、設計図書を作成する。		
	設計図書に基づき改良工事(新設工事)を発注する。		
	工事を監督・管理する。		
事業の成果	関係法令を遵守し、設計図書を作成することが出来た。		
	適切な契約方法により工事を発注した。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い
	小田林地内の新4号国道から黒田児童会館までの通学路として未施工部分の早期整備が望まれる。
妥当性	5 行政以外にはできない事業である
	当該事業の対象である本道路は市道であるため管理は市が行う(道路法16条1項)。よって本事業は行政が実施すべき事業である。
公平性	5 広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない
	開通後は、新4号国道へと接続していることから偏った受益者ではなく広く便益が提供できる。
適切性	5 現在のやり方(手段)以外には考えられない
	適切な方法である。
有効性	4 概ね目標水準に達している
	当初計画延長より実施延長が延伸しているため、目標水準に達成している。
効率性	4 効率は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている)
	再生資材を使用することにより、コストが下げられた。

総合評価	平成18年度で完了となるが、水田部分延長250mに歩道設置して全線整備完了となる。補助制度を活用して事業化の必要がある。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	終了	中長期的方向	新事業への展開
	説明	この道路は、新4号国道に接続する道路であり、通勤・通学の利便性を向上させるため平成18年度に完成させる。			
決定権者判断	決定内容	終了			
	説明	市の道路政策として、進めている事業である為財源の確保を図り早期完成を目指す。			